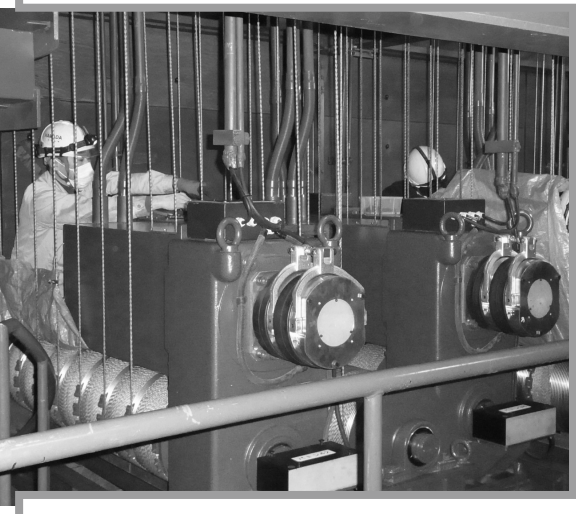
兵庫県立芸術文化センター / ひょうご T2

第 11 回　舞台技術セミナー

より良い劇場環境と劇場運営を目指して！今我々にできること！

劇場運営を続けるにあたり考えておかなければいけないことは何か。
・安全、安心を担保し、潤滑に公演を継続してゆくために必要なメンテナンスの考え方。
・日々進化するネットワーク技術をこれからの劇場運営にうまく反映させることはできないか。



平成 29 年 4 月 13 日（木）

12:30（開場）▶13:00（開始）▶17:00（終了予定）

場所：兵庫県立芸術文化センター中ホールおよび大ホール
◎ 阪急電鉄 西宮北口駅 南改札口より連絡デッキですぐ。
◎ JR 西宮駅より徒歩１５分
参加費：無料（要申込）　　定員２００名

【お申し込み方法】 裏面の申込用紙に記入の上、FAX にてお送りいただくか、
下記、兵庫県立芸術文化センターホームページのリンクからお申込みください。

兵庫県立芸術文化センターホームページ【http://www1.gcenter-hyogo.jp/】>
公演カレンダー > 月間スケジュール > 舞台技術セミナー頁内リンク

第一部　「大規模修繕のご報告」

○開館して１１年の今、どのような修繕が必要なのか。
大規模修繕の計画から工事に至るまでの経緯をご報告いたします。
また実際の修繕工事内容を実証を交えてご報告致します。

第二部　「ネットワークを利用した新しい音楽鑑賞のかたち！」

○ネットワーク設備を使った遠隔地間でのセッションコンサートの可能性を検証、実験致します。
費用対効果を考慮した新しいスタイルの会館主催事業でと成りえるのか。
遅延問題はどこまで解決できるのか？　　将来的に『１０万人の第九』なんてできちゃうかも・・・！？
従来のステレオ再生とは違った「マルチスピーカーオーケストラ（仮称）」で臨場感を体験してください。
２０１５年１０月　開館１０周年記念イベント”オープンデイ”大好評企画
『マエストロはどんな音を聞いているの !? 』リバイバルです！今回はオンステージで鑑賞いただけます。
（ヒビノ株式会社 公式ブログ BREAK TIME　2016 年 02 月 24 日　参照）

主催：
兵庫県立芸術文化センター　株式会社 ひょうご T2

協力：
スチューダー・ジャパン - ブロードキャスト株式会社
東芝エルティーエンジニアリング株式会社
ヒビノ株式会社
三菱重工メカトロシステムズ
ヤマハサウンドシステム株式会社
（五十音順）

2015.10.24『マエストロはどんな音を聞いているの!? 』より

【お問い合わせ】 舞台技術セミナー事務局（株式会社ひょうご T2 内）
Tel: 0798-64-3100 / Fax: 0798-68-0301
seminar@gcenter-hyogo.jp

セミナー内容を ちょっと詳しく

第一部「大規模修繕のご報告」（13 時から開始予定：阪急中ホール）

2005 年 10 月に開館して以来フル活動してきた兵庫県立芸術文化センターですが、稼働率の高さ故か随所に不具合が出てきました。「11 年目で大規模修繕実施、ちょっと早いのでは!?」とお感じの方もいらっしゃるかもしれませんね。

そこで修繕工事に至るまでの経緯や不具合の事象等も含め、「皆様にご報告しなければ。」と思った次第です。

安全を担保するため、公演事故を未然に防ぐためにはどのような考え方で運営すればよいのでしょう。まだまだ途上ではありますが、我々が進めてきたことをご報告いたしますので是非屈託のないご意見をいただきたいと思います。

また実機による実験等もお見せできると思いますのでお楽しみに！

第二部「ネットワークを利用した新しい音楽鑑賞のかたち！」（15 時ころ開始予定：KOBELCO 大ホール）

日々進歩するネットワーク技術を劇場運営に役立てられないものでしょうか。

費用や労力を考えると、催し物を制作することはとても大変ですよね。そこで一つの企画例です。

２館以上の劇場で連携し、一方の劇場で演奏会を開催しリアルタイムでマルチ収音した音をネットワーク伝送でもう一方の劇場に配信、マルチスピーカーオーケストラ（仮称）で鑑賞する。ステレオ（２チャンネル）音源ではなくマルチ再生というところがポイントです。一昨年開催した十周年記念イベント「オープンデイ」で好評をいただいた『マエストロはどんな音を聞いているの!?』のシステムを使い、オーケストラ人数分のスピーカーを演奏者の配置に設置することにより、まるでオーケストラがそこに存在するかのような臨場感をお楽しみいただけます。ここでネットワーク技術の実験となるわけですが、今回は館内３ケ所に分かれたアーティストがお互いの音を聞きながら演奏する実験を行います。

実は館内の距離であればアナログ回線を引き回せば問題なく実現できることですが長距離間、例えば東京⇔兵庫間やニューヨーク⇔兵庫間を想定するとアナログ回線では限界があります。デジタル変換しネットワーク回線を使うことで距離を稼ぐことは可能となりますが、さてどんな落とし穴があるのか、現在の技術でどこまで遅延は解消できるのかを実験したいと思います。

このセミナーのためにお集まりいただくコーラスメンバーがお互いの音を聞きながらうまく合唱できるのか、正直やってみないと分かりません。成功するか、失敗に終わるのか、こうご期待！

また、このセミナーに先立って１１日、１２日は「修繕お披露目バックステージツアー」や展示形式での　「劇場ビフォーアフター」をご覧になれます。（ツアーは要申込）大ホールでは前述の『マエストロはどんな音を聞いているの!?』を常時鑑賞いただけます。

(10:00~16:30 の間常時)

オーケストラの中を練り歩く、指揮台に立ってタクトを振る、いろんな楽しみ方がありますよ。

皆様のおいでを心よりお待ち申し上げております。

マルチチャンネル・マルチスピーカー方式
「マエストロはどんな音を聞いているの!?」より

参考（ヒビノ株式会社　公式ブログ BRAKE TIME ＞ ブログ内検索 ＞ 兵庫　）